

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	交通安全事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	危機管理部	課等名	防災交通課		包含する細々目	1	2	1	11	11	1	
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり											
施策	42 交通安全の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等							
		事業期間		年度～								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	歩行者及び自転車・自動車運転者等全ての道路利用者	飯田市の人口(人) (H18.10.1推計人口)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			107844	107000		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
			交通安全に対する意識が高まる	人身事故発生件数	18目標	最終目標
			18実績	641	19目標	620
		23目標	550	23実績		
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑ 最終目標達成年度
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値	
	道路交通安全を確保するため、飯田市交通安全連合会が、道路利用者に対する交通安全の啓発、幼児・児童、高齢者に対する交通安全教育、交通安全運動における広報・啓発等を行い、交通安全思想の普及を行ってきた。19年度からは各地区地域自治組織等と連携して引き続き活動を行う。	18年度の実績	飯田市交通安全連合会の活動として交通事故のない、安全で安心・快適な交通社会を確立するため、 ・交通弱者に対する交通安全教育の実施 ・交通安全高齢者宅訪問 ・交通安全パトロール・広報 ・交通安全運動中の人波作戦、指導所 ・交通安全市民大会の開催 ・交通少年団の活動	交通安全教育・回数 高齢者宅訪問・戸数 パトロール等・回数 指導所等・回数 市民大会・回数 少年団活動・回数	41 120 80 68 1 11
		19年度計画	まちづくり委員会等の交通安全部門の活動として交通事故のない、安全で安心・快適な交通社会を確立するため、 ・交通弱者に対する交通安全教育の実施 ・交通安全高齢者宅訪問 ・交通安全パトロール・広報 ・交通安全運動中の人波作戦、指導所 ・交通安全市民大会の開催 ・交通少年団の活動	交通安全教育・回数 高齢者宅訪問・戸数 パトロール等・回数 指導所等・回数 市民大会・回数 少年団活動・回数	41 120 80 68 1 11

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	6,170	3,081
	事業費計(A)	6,170	3,081
人件費	正規職員所要時間	18年度 1,000	19年度 1,000
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	3,576	3,576
	トータルコストA+B	9,746	6,657

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	交通安全思想の普及により交通事故防止となっている。	交通事故死傷者数	現状値	814	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	700
	交通事故発生件数	交通事故発生件数	現状値	641	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	550	

この事業を開始したきっかけ 昭和41年10月に飯田市交通安全連合会が発足し、交通安全思想の普及啓発に取り組んできた。	事業を取り巻く状況の変化 交通事故は減少傾向にあるが、年間の死傷者数は、800人前後と依然高水準にある。 地域自治組織の発足により平成18年度をもって、飯田市交通安全連合会は解散となった。	事業に対する市民や議会の意見 交通安全活動に携わっている市民からは、継続した活動の要望がある。
---	--	--

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 交通安全思想の普及により交通事故防止となっている。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 交通事故の発件数は依然高水準である。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 道路を利用している人を対象としており妥当		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 交通安全について、常に市民に呼びかけることにより、市民の交通安全意識が保たれる。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 交通安全思想の普及が交通事故防止となる。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 交通安全思想の普及は、市民生活の安全のためであり市が関与することは妥当		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 可能 (その理由) 飯田市交通安全連合会が解散したことにより、まちづくり委員会等が地域にあった交通安全活動に取り組むことになる。
		効率的 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 妥当である (その理由) 道路利用者が受益者である。
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 道路利用者が受益者である。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	実施年度 <input type="checkbox"/> 2025年度 <input type="checkbox"/> 2026年度 <input type="checkbox"/> 2027年度 <input type="checkbox"/> 2028年度 <input type="checkbox"/> 2029年度 <input type="checkbox"/> 2030年度 <input type="checkbox"/> 2031年度 <input type="checkbox"/> 2032年度 <input type="checkbox"/> 2033年度 <input type="checkbox"/> 2034年度 <input type="checkbox"/> 2035年度 <input type="checkbox"/> 2036年度 <input type="checkbox"/> 2037年度 <input type="checkbox"/> 2038年度 <input type="checkbox"/> 2039年度 <input type="checkbox"/> 2040年度 <input type="checkbox"/> 2041年度 <input type="checkbox"/> 2042年度 <input type="checkbox"/> 2043年度 <input type="checkbox"/> 2044年度 <input type="checkbox"/> 2045年度 <input type="checkbox"/> 2046年度 <input type="checkbox"/> 2047年度 <input type="checkbox"/> 2048年度 <input type="checkbox"/> 2049年度 <input type="checkbox"/> 2050年度 <input type="checkbox"/> 2051年度 <input type="checkbox"/> 2052年度 <input type="checkbox"/> 2053年度 <input type="checkbox"/> 2054年度 <input type="checkbox"/> 2055年度 <input type="checkbox"/> 2056年度 <input type="checkbox"/> 2057年度 <input type="checkbox"/> 2058年度 <input type="checkbox"/> 2059年度 <input type="checkbox"/> 2060年度 <input type="checkbox"/> 2061年度 <input type="checkbox"/> 2062年度 <input type="checkbox"/> 2063年度 <input type="checkbox"/> 2064年度 <input type="checkbox"/> 2065年度 <input type="checkbox"/> 2066年度 <input type="checkbox"/> 2067年度 <input type="checkbox"/> 2068年度 <input type="checkbox"/> 2069年度 <input type="checkbox"/> 2070年度 <input type="checkbox"/> 2071年度 <input type="checkbox"/> 2072年度 <input type="checkbox"/> 2073年度 <input type="checkbox"/> 2074年度 <input type="checkbox"/> 2075年度 <input type="checkbox"/> 2076年度 <input type="checkbox"/> 2077年度 <input type="checkbox"/> 2078年度 <input type="checkbox"/> 2079年度 <input type="checkbox"/> 2080年度 <input type="checkbox"/> 2081年度 <input type="checkbox"/> 2082年度 <input type="checkbox"/> 2083年度 <input type="checkbox"/> 2084年度 <input type="checkbox"/> 2085年度 <input type="checkbox"/> 2086年度 <input type="checkbox"/> 2087年度 <input type="checkbox"/> 2088年度 <input type="checkbox"/> 2089年度 <input type="checkbox"/> 2090年度 <input type="checkbox"/> 2091年度 <input type="checkbox"/> 2092年度 <input type="checkbox"/> 2093年度 <input type="checkbox"/> 2094年度 <input type="checkbox"/> 2095年度 <input type="checkbox"/> 2096年度 <input type="checkbox"/> 2097年度 <input type="checkbox"/> 2098年度 <input type="checkbox"/> 2099年度 <input type="checkbox"/> 2100年度	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 飯田市交通安全連合会が解散となり、交通安全活動は、まちづくり委員会が担うこととなった。地域にあった活動が行われるよう財政的支援が必要。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	市が全市的に取り組む交通安全活動事業を見直しをし予算をまちづくり委員会にまわす必要がある。	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	